

📌 ノートをとってみよう！

「コミュニケーション学概論」という講義の様子です。実際にどんなふう
にノートをとったらいいか、見てみましょう。

先生が話した内容

はい、じゃあ、始めましょう。先週配ったプリントは持っていますか？
先週は、切り口によってコミュニケーションがいろいろに分類できることを
確認しましたが、今日はまず、改めて、広い意味でコミュニケーションとは
何か、どういうふうに定義できるのか、というあたりから話を始めていき
たいと思います。

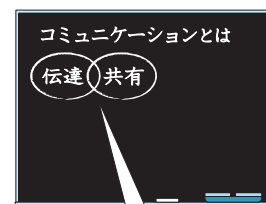
コミュニケーションとは？と聞いて、ぱっと思い浮かぶのは、伝えるとい
う機能ではないでしょうか。けれども、コミュニケーションはそれだけじゃ
ない。伝えたあとどうなるか、ということまで視野に入っている。人に何か
を伝えたら、その人とその何かを分かち合うことができます。何かを**伝達し**、
共有する。でも一体、何をでしょう？

受け渡しされるのは情報です。それらの情報は、心理的に意味のあるメッ
セージであり、感情…思考…知覚、といったものを含んでいます。

それじゃあ、そういった情報はどのようにして伝えられるのかという
まさに今、私がしているように、言葉を使って、ということがまず考えられ
ます。けれども、必ずしも言葉にしないと感情や思考や知覚は伝わらないか
といったらそうでもない。動物は、人間のような言葉は話さないけれども、
コミュニケーションしながら生きていますよね。そうすると人間も、言葉
以外の部分でコミュニケーションをしていることも、実は多いことに気づくで
しょう。

先生の板書とノートが
全然違うことを確認しよう。

先生の板書



何かを伝達し、共有する

ノートの例

